



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワ : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫■

「結婚記念日」

このイースター・ピクニックのあった日曜午後の教会でのことである。食事の前に英語部のある熟年の方とお話しをしていた。その方は十年ほど前に奥様を亡くされている。日頃親しくさせていた、いて、いることもあつて、僕はいきなり「奥様を亡くされて今はどうですか、寂しくはありませんか？」と尋ねた。そのときに彼はこう応えたのである。「私は今も家内の誕生日や結婚記念日にはカードを書きますよ」と。僕はそれを聞いて打ちの目されそうになった。愛する者が召されて十年以上も経つのに、未だ結婚記念日や誕生日にカードを出す人がいるとは！彼はいつも彼女の様々な励ましゆえに仕事が支えられ、仕事をしながらも困難な学びも祝福され、支えられてきたことを語っていたのだが、そのことのゆえに今もなお変わらぬ愛をもって彼女への感謝の思いを捧げ続けているのだった。何と真実で一途な人だろうかと頭が下がる思いであった。

この四月5日は節子との三十二回目の結婚記念日にあたる。僕は記念日に家内に手紙を送ったことはない。その日には何か記念になる物を買ったり、家族でレストランに行ったり、家で家内の好きな手巻き寿司などを食してきたのだった。そういえば二〇年目の記念日に、初めて近くのマリリー・カレンダーで二人だけで食事をしたのだが、何か気恥ずかしく緊張した一時であった。それまでは子供たちを抱えて、二人だけの食事は出来なかったからだが、これももし当地のアメリカ人が聞いたら卒倒しそうな古代人夫婦と思われるに違いない。

先週、息子と家で食事をしながら、部屋の片隅にある妻の遺影の前に、「今日のお母さんの天国での食事は何だったんだろうね」と僕が何気なく言うと、彼は「今日はイースターだから、何か特別な食事だったんじゃないかな」などと、他愛のない、答えない会話をしていた。その妻に直接、家族の思いを伝える電話なり、手紙があつたら、どんなに良いだろうかと、最近とくに思うのだ。

詩篇に「われらはバビロンの川のほとりにすわり、シオンを思い出して涙を流した」(二三七・一)という一節がある。遠くバビロンの地に捕囚され、辱めの中で思い起こすのは故郷イスラエルだという内容である。やがては私たちも故郷の天のエルサレムに帰る。なればこそ日々、このような者を救いに導いてくれた主を思い、このような者に嫁いでくれた妻と、その背後で私たちを結びつけてくれた主に感謝し、さらには与えられた愛する者たちを誇りと思う日々でありたいと心から願う。記念日はそれらを確認する時なのではあるまいか。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョン・ウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

